

# 児童労働のないサステナブルなカカオとチョコレートをめざして～コレクティブ・インパクトへの挑戦

2021年3月12日

サステナブル・カカオ・プラットフォーム ウェビナー

認定NPO法人ACE 白木朋子





私たちは、子ども、若者が自らの意志で、人生や社会を築くことができる世界をつくるために、子ども、若者の権利を奪う社会課題を解決します。

1997年設立当初から児童労働問題にフォーカスし、インド、ガーナの28村で2360人の子どもを児童労働から解放し、約1万3500人の教育を支援。(2020年5月現在)



ガーナのカカオ産業の児童労働  
①スマイル・ガーナプロジェクト  
②ガーナ政府との制度構築(JICA委託事業)  
③企業のサプライチェーン改善支援

インドのコットン産業の児童労働  
ピース・インド プロジェクト



啓発・市民の参加促進



日本政府の取り組み強化に向けたアドボカシー



日本の子どもの権利



日本の児童労働予防

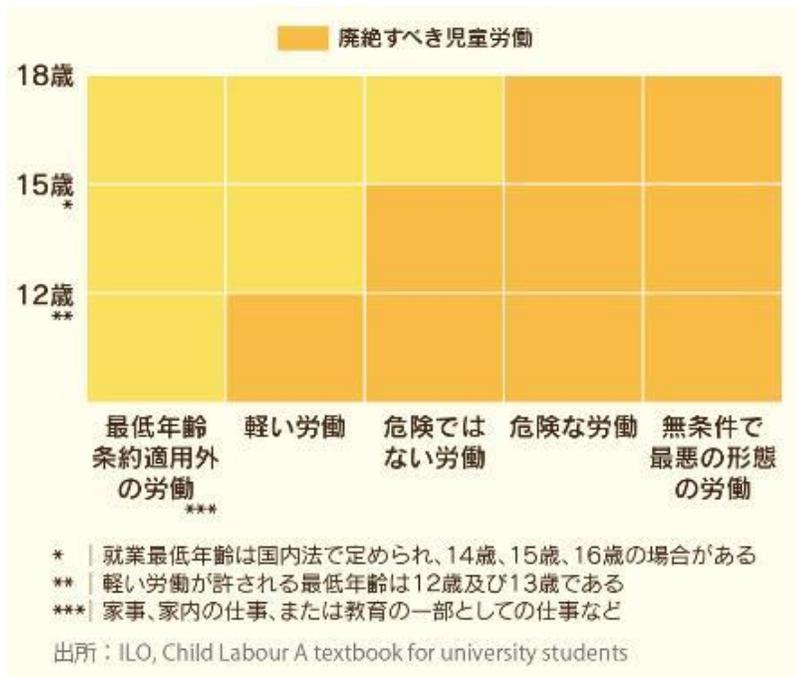


児童労働に加担しないビジネスの浸透



# 児童労働の定義～国際条約、各国の法律で広く禁止

- 15歳未満の義務教育を妨げる労働
- 18歳未満の危険有害労働



※学校に通いながら、安全な環境下での、家業の手伝い、アルバイトなど、違法でないもの、子どもの権利を妨げないものは児童労働とはみなさない。

- ◆ **子どもの権利条約（国連、1989年）**  
子ども＝18歳未満、義務教育は権利
- ◆ **最低年齢条約（ILO第138号、1973年）**  
働いてよいのは義務教育を終えてから（原則15歳）
- ◆ **最悪の形態の児童労働条約（ILO第182号、1999年）**  
子どもの心身の健康に著しく影響を及ぼすものは、18歳未満は即禁止。

190あるILO条約のなかで、すべての加盟国が批准した初めての条約！

奴隷のような労働  
(強制労働、子ども兵士、人身売買含む)

ポルノ、買春に子どもを使用

不正な活動に子どもを使用  
(麻薬の密売や犯罪の手引きなど)

危険・有害労働

# カカオ産業と世界における児童労働の現状～SDGsのターゲットにも

世界のカカオ生産の約7割を占める西アフリカ。

- ・コートジボワールとガーナで156万人の児童労働
- ・95%が危険有害労働に従事
- ・ガーナは77万人、カカオ生産地の農家の55%

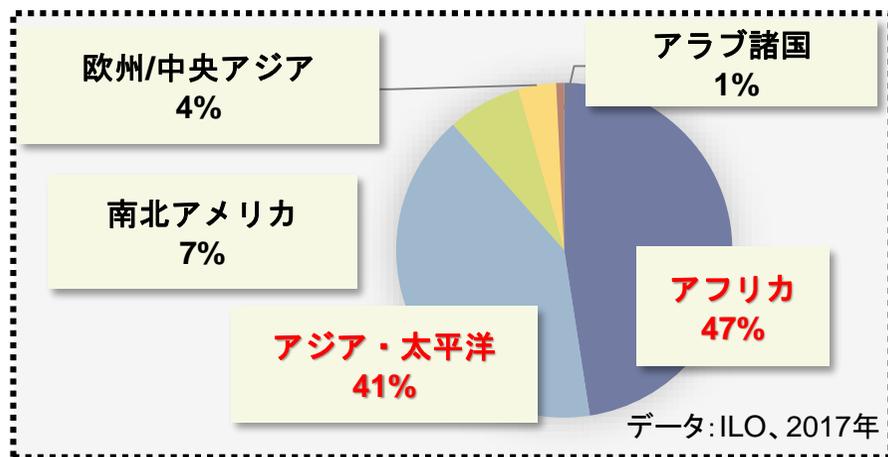
(NORC報告書、2020年10月)



日本が輸入するカカオの77%はガーナ産！



世界の児童労働者は、1億5200万人。特にアフリカが、最も多い。



## SDGターゲット8.7



2025年までに、世界のあらゆる児童労働を終わらせる。

## 児童労働を、ひとつのシステムとして捉える



# ACE 「しあわせへのチョコレートプロジェクト」のあゆみ

2008  
ガーナで調査



2009年2月～  
スマイル・ガーナ  
プロジェクト



2011年～  
森永製菓との連携

1チョコ for 1スマイル

あなたが食べると、もう一人がうれしい。



2016年～  
国際会議での発信



2020年3月  
ガーナで「児童  
労働フリーゾーン」ガイドライン  
施行



2007～  
教材開発  
ワークショップ実施



2009～2017  
寄付つきチョコレートを通じた  
ファンドレイズ活動



2012～  
企業との連携拡大



2012 映画「バレンタイン一揆」  
2015 書籍出版



2018年～  
ガーナ政府との  
連携、制度構築

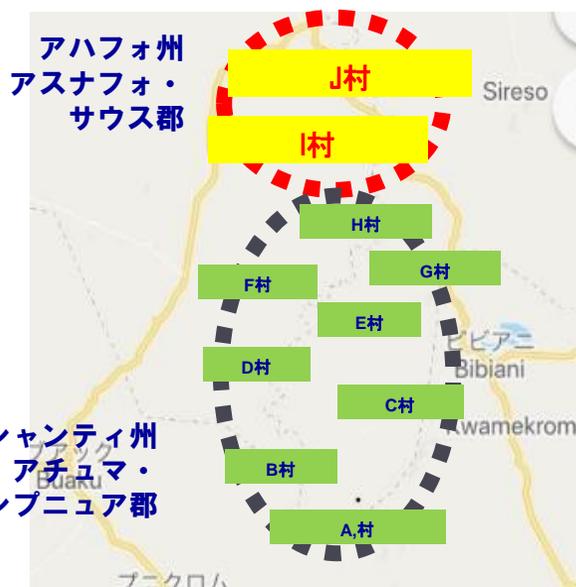


2020.10  
～2022.3  
JICA委託事業  
実施中



# コミュニティレベルの児童労働モニタリングシステムを構築

「子ども保護委員会(CCPC)」を立ち上げ、定期的に村の中の見回り活動を行います。  
児童労働をしている子どもを見つけたら、家庭訪問をし、親と話し合っ、子どもが学校に行けるよう対策を考えます。



見回り用の自転車を支給



子ども保護委員会 (CCPC)



- ・ 村横断のモニタリングチーム結成
- ・ 子ども保護委員会を立ち上げる
- ・ 児童労働防止策の制定



# 「児童労働のない」チョコレートの選択肢が拡大！ 森永製菓など、企業による課題解決への投資も進んだ



**1チョコ for 1スマイル**  
あなたが食べると、もう一人がうれしい。

森永製菓、  
有楽製菓、  
フェリシモ  
など  
(のべ17社)

①<児童労働のない>カカオ生産と  
コミュニティづくり



スマイル・ガーナ  
プロジェクト



子どもの教育      カカオ農家支援      モニタリングシステム

②へ児童労働のない<チョコレート>の  
生産と消費

売り上げからの寄付

2013年	2014年	2015 ~17年	2019年
森永製菓 			
立花商店 (2016~)			
			

累計で  
82商品！  
(2021年3月現在)

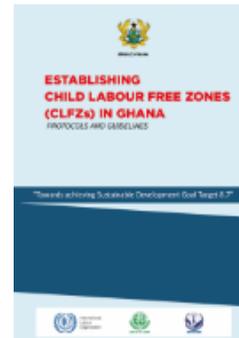
## ガーナの政府と連携して、 チャイルドレイバー・フリー・ゾーン(CLFZ)制度を構築

ガーナ雇用労働省(MELR)、ILO、労働組合、現地NGOなどがチームを組んで、CLFZの定義や基準、審査方法などに関するガイドライン文書を取りまとめた。

### Child Labour Free Zoneとは？

(児童労働のない地域)

児童労働を日常的に監視、予防し、問題が起きた時にコミュニティの住民と自治体が協力して解決できるシステムが機能している地域。



日本政府も  
支援。「SDGs  
アクションプ  
ラン2021」に  
も明記

優先課題⑦【主な取組】：平和と安全・安心社会の実現

子どもの安全等

児童労働の撤廃に向けた取組

国際機関、NGO、民間企業等との連携の下での途上国における最悪な形態の児童労働の撤廃を目指す、ガーナ等で調査を実施。2020年1月にはカカオ産業における児童労働を含む開発課題の解決に向けた共創を目的とする「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」を設立。(外務省、JICA)  
アジア地域における児童労働の撲滅や同地域に進出する日系企業のビジネス環境の改善に資するため、我が国の経験と知見を踏まえつつ、国際基準に調和した労働基準監督施策導入のための支援や労使自らが児童労働問題解決を図るための支援、民間活力も活用したコミュニティレベルでの支援を実施。  
(R3当初0.9億円、厚生労働省)



NHKの全国ニュース(2020年11月10日、10時台)

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_Action\\_Plan\\_2021.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_Action_Plan_2021.pdf)

# 日本のチョコレート業界も少しずつ動き始めた

2020年、有楽製菓、明治、不二製油、森永製菓、ロッテなどが、児童労働撤廃や持続可能なカカオの調達に関する方針やコミットメント、江崎グリコが人権方針を発表。

企業	コミットメント
不二製油	不二製油グループのカカオ豆・カカオ製品のサプライチェーン上における児童労働を2030年までに撲滅するため、2025年までに国際労働機関(ILO)の定める「最悪の形態の児童労働」(WFCL: Worst Forms of Child Labor)をゼロにします。
明治	2026年度までにサステナブルカカオ豆※1の調達比率を100%へ
森永製菓	2025年度までに国内の森永製菓商品に使用するカカオ豆を100%持続可能な原料に切り替えることを目指します。
有楽製菓	2025年までに自社商品に使用するすべてのカカオ原料について、児童労働撤廃に取り組んでいる原料へ変更することを目標としています。
ロッテ	2023年度までに調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を20%以上にすること、さらに2028年度までに50%以上にすることを目標に掲げています



## 多様なステークホルダーと連携することで ミクロな取り組みがマクロへ発展

ガーナの子どもたちを児童労働から解放



試行錯誤を経て

児童労働をコミュニティーからなくすシステムを構築

発展

まずは  
ガーナから

児童労働をなくすシステムの  
国レベルの普及

産業全体での児童労働に依存しない  
サプライチェーンの確立

大きな影響力を持つ、国、企業が継続して取り組むことで、  
さらに大きな社会的インパクトを生み出すことができる。

# ご清聴ありがとうございました



特定非営利活動法人ACE(エース)

〒110-0005 東京都台東区上野6-1-6 御徒町グリーンハイツ1005号

<http://acejapan.org/>